



週報

WEEKLY REPORT 2024-2025



事務所 三重県伊賀市西明寺2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656

例会 毎週木曜日 12:30点鐘 第3・第5週例会 18:00点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

2036/No.7

URL: <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/> e-mail: u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会

第2037回 2024年8月29日(木)

開会点鐘 18:00

RCソング『それでこそロータリー』・歌唱指導『少年時代』

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックスの報告

委員会・同好会報告

本日の行事 夜間例会／職業ミニ卓話：鈴木孝治会員

乾杯

食事の時間

閉会点鐘19:00

前回の例会

第2036回 2024年8月20日(火)

ガバナー公式訪問4クラブ合同例会(ホスト：上野RC)

開会点鐘 12:30

国歌斉唱『君が代』・RCソング『奉仕の理想』

地区役員のご紹介

食事の時間

会長の時間

出席報告、ニコニコボックスの報告

地区大会についての報告

本日の行事 亀井DGの卓話

閉会点鐘 13:30

出席報告

正会員37名、免除者3名

出席率 87.88%



ニコニコボックスの報告 瀧山委員長

亀井DG お世話になります。

山本上野RC会長 本日はようこそいらっしゃいました。

小林会長 亀井ガバナーをお迎えして 上野RC様設営ありがとうございます。

山森幹事 亀井ガバナーをお迎えして

田山会員 亀井DGをお迎えして

中井会員 亀井ガバナーをお迎えして 上野クラブの皆様お世話になります

長谷川会員 亀井DGをお迎えして

子日会員・南会員 4クラブ合同例会を祝して

出後会員 亀井ガバナーをお迎えして

松本会員・神戸会員 亀井ガバナーをお迎えして 本日は宜しくご指導お願いいたします。

西口会員 ガバナー公式訪問お疲れ様です。

西会員・三山会員・岡田会員 亀井ガバナーをお迎えして

栗本会員・神崎会員 亀井ガバナー様、上野RCの皆様お世話になります。

中西会員 亀井ガバナーをお迎えして

『会長の時間』

上野RC会長

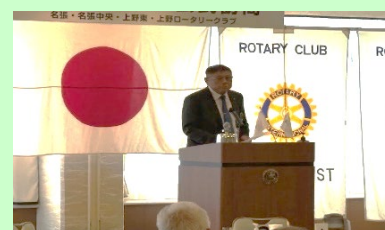
山本ヒサ子 様



『地区大会についての報告』

地区大会実行委員長

中島滋泰 様



『ガバナー卓話』 国際ロータリー第2630地区ガバナー 亀井喜久雄 様

ロータリーは21世紀に入る頃までは会員数は右肩上がりで急激に増加してきました。1956年には約40万人、66年・76年・86年・96年と10年ごとに20万人ずつ増え続け、1986年には100万人を突破し、1996年には120万人となりました。それから28年後の今も120万人です。日本も96年の約13万人がピークで現在8.4万人です。世界的にはドイツを除く先進国では減少、とりわけイングランドとオーストラリアが大幅減少。台湾・インド・韓国で増加傾向というのがいままでの経緯です。過去5年間20%の地区が新クラブを一つも設立していません。入会した新会員のうち10%以上が入会后1年以内に退会しています。退会者の約半数がクラブでの所属年数がわずか3年未満です。これはよいことではありません。退会した会員はロータリーに対する否定的な見方をほかの人と共有しますからロータリーブランドにも害が及びます。

停滞の最大の原因は経済発展が先進国で止まり、その穴を発展途上国が埋めたことです。このままでは先進国のロータリアンの減少は尚一層進み、活動自体に支障をきたし、衰退への道は目に見えています。

これまでさまざまな会員増強策が試みられ、一部では成功していますが、全般にわたるものではありません。

私たちは新入会員入会にあたって、全員の同意を取ることが前提となっていないでしょうか？これは「量より質」という考え方によるものですが、会員増強にとって自らブレーキを踏んでいるように見えます。私たちの中核的価値、すなわち「4つのテスト」に見合った人ならば、たった1人の反対で入会を拒否するのはどうでしょうか。再考をお願いします。

入会間もないメンバーが数多く退会するのはなぜでしょうか？それはその人にとって居心地が悪く、ロータリーの意義を感じ得ないからでしょう。そのような人には積極的にクラブの重要な役割を与えて、考えていただくのです。きっと意識の中の「何か」が変わるでしょう。良きロータリアンの道が開けると考えます。

決議23-34は日本のロータリーが最も大切に守ってきたものです。ただその中で、社会奉仕の功績を自分のものとせず、そのすべてを協力者の手柄にするようにしなければならないと明記してあります。ロータリーの奥ゆかしい一面で、陰徳を積むという高潔な考えですが、その謙虚さが社会におけるロータリーの存在感を薄めていないでしょうか？社会奉仕の功績はもっと社会に広報してもいいのではないのでしょうか。それが社会的地位を高め、会員入会の動機付けになるものと考えます。

スティーブ・ジョブズはこう言いました。「アップル社再建の妙薬は費用を削減することではない。現在の苦境から抜け出す斬新な方法を編み出すことだ。優れた製品を提供し続ければ、顧客はいつでも財布を開いてくれると、私たちは信じていた」と。革新の必要性は当時のアップルにあてはまり、同様に現在のロータリーにも当てはまります。

国際ロータリー事務総長ジョン・ヒューゴ氏は言います。「私たちの中核的価値、すなわち四つのテスト・奉仕と親睦・倫理と高潔さは決して変わることはできません。でも、それ以外はどうでしょう？何事も可能です。どんなに頻繁に例会を開こうと、点鐘しようと、歌を歌おうと、それがクラブを支え、クラブの存続と成長につながるなら、それでよいでしょう。しかし、そうでない場合は、そうした慣習をやめ、もっとよいものに置き換えてみてください」

この言葉を私たちは今一度かみしめる必要があるように思われます。どうか、前例にとらわれない新しい「在り方」を模索してください。

